

第23回JIA環境建築賞優秀賞作品見学会

千葉大学墨田サテライトキャンパス

設計者：松尾敬一／小見山信巳／鈴木智久／小野志門／河合正理／大久保孝雄（久米設計）

デザインアドバイザー：栗生 明＋北川・上田総合計画デザインアドバイザー

基本構想：上野 武＋千葉大学キャンパス整備企画室・墨田区企画経営室



体育館をコンバージョンしたイノベーションアトリウム

日時：2023年12月22日(金) 15:30～17:30

集合場所：千葉大学墨田サテライトキャンパス東側出入口15:30集合

「まちを環境として捉える」

次世代へ人・まち・建築をつなぐためのリノベーション

この改修プロジェクトは、大学が存在しない墨田区と、都心にキャンパスを求めた千葉大学の共同プロジェクトである。高さ制限の既存不適格を解消するため、屋根を新しく架け替え、建築の中心のコアをなくすことで、フレキシブルな教育空間を獲得し、今後の改修や増築に対応する自由さを獲得した。

1階は、墨田区の工業やものづくり産業地域へ解放し、隣地の建築との動線をつなげたランドスケープ計画など、設計者自らワークショップを行い、多方面に働きかけ、提案をし、関係をつくり上げているところは、何よりも評価したい。このような公共ストックは、たくさん存在するはずだ。生きながらえ、永く住み続けることができる場として蘇らせたことは、新たな可能性を示したと言える。（講評：小堀哲夫）

「用途変更による機能の補完」

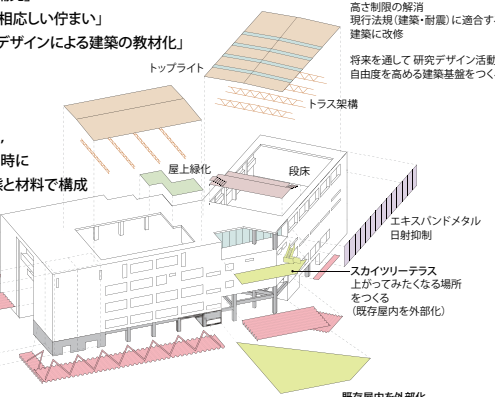
「地域に開かれた大学に相応しい佇まい」

「分野を横断した一体的デザインによる建築の教材化」

「分野を横断した一体的デザインによる建築の教材化」

新たに手を加える箇所は、建物機能を補完すると同時に周辺地域を意識した形態と材料で構成

EV-WC新設
既存機械駐車場の
稼働率を利用



地域の人々と大学(学生・教員)の交流の場をつくる
3つの庭による地域「すみだ」に親しまれる新しい佇まい

既存屋内を外部化
大きな通り抜け空間をつくる
キャンパスコモンへの挿入

〈ストックを活かし地域につなげる／既存のポテンシャルを最大化する改修手法〉



屋根を架け替えた外観



くの字平面中央部を外部化したブラザ



■所在地：〒131-0044 東京都墨田区文花1-19-1

■参加費：¥2,000

■募集人数：30名（申込先着順）

■C P D：2単位

■申込方法：12/17までに下記フォームより
必要事項をご記入の上、お申込み下さい

■申込URL：<https://x.gd/aezx6>

■当日緊急連絡先：080-4052-0454

担当：菅

主催／お問い合わせ先

JIA 関東甲信越支部 環境委員会

E-Mail：jiakantokankyo@gmail.com

H P：<https://www.jia-kanto.org/>

：<https://jia-eal.org/>

QRコード

